にのへ市議会だより

54号
令和２年
２月１５日 発行

12月定例会

— CONTENTS —

定例会の概要 ・・・・・・・・・・・・ 2
主な議案の内容 ・・・・・・・・・・・ 2
主な質疑応答 ・・・・・・・・・・・・ 4
討論 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
審議結果、賛否の公表 ・・・・・・・ 6
一般質問 ・・・・・・・・・・・・・・ 7
視察レポート ・・・・・・・・・・・ 12

冬の思い出　氷上に響くこどもたちの大歓声

中央小学校４年生の児童の皆さん　県北青少年の家でのスケート教室

12月定例会

令和元年度補正予算など全15議案を可決

一般会計補正予算は総額4212万円の減

12月定例会は、12月5日から12月17日までの13日間にわたり開かれ、本会議や委員会などで活発な議論が交わされました。

審議の結果、市長より提出された議案15件が全て原案のとおり可決されたほか、議員から提出された意見書案2件のうち1件が可決されました。

一般質問では7人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について、市の考えを質(ただ)しました。。

…主な議案の内容…

条例

二戸市会計年度任用職員の給与等に関する条例 可決

会計年度任用職員について、身分、給与、休暇等を明確化しようとするものです。

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例 可決

地方公務員法及び地方自治法の一部改正の施行に伴い、会計年度任用職員等の部分について、所要の改正をしようとするものです。

二戸市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例及び二戸市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 可決

地域防災力の維持を目的に、後方支援等限定的な任務で活動する機能別団員を任用するため、所要の改正をしようとするものです。

◆**改正の内容**　機能別団員の任用、報酬について定めるとともに、退職報償金を支給しないことを定めるものです。

二戸市印鑑条例の一部を改正する条例 可決

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、印鑑登録証明事務処理要領の一部改正により成年被後見人の権利の制限に係る措置の適正化が図られたことから、所要の改正をしようとするものです。

◆**改正の内容** 登録資格のうち、「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」にするものです。

二戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 可決

人事院及び岩手県人事委員会の勧告に鑑み、一般職の職員の給料月額の改定を行うものです。

議決

岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について 可決

令和2年3月31日をもって盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合が解散することに伴い、岩手県市町村総合事務組合規約に掲げる組合を組織する地方公共団体から除くものです。

補正予算

令和元年度二戸市一般会計補正予算（第6号） 可決

国庫補助金の減額に伴う事業費の減などです。

◆**補正額** △6471万円

【主な内容（歳出・増額分）】

- **戸籍住民基本台帳等事務費（備品購入費）** 110万円
  市民生活課窓口のレジスター更新にかかるもの
- **認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助金** 351万円
  民間の認知症高齢者グループホームの施設改修に係る補助金
- **健康管理支援事業準備業務委託料** 275万円
  来年度から始まる予定の生活保護受給者に対する健康管理支援事業の準備に係る委託料
- **妊産婦健康診査交通費助成金** 24万円
  ハイリスク分娩に係る妊産婦への支援のための補助金
- **いわて型野菜トップモデル産地創造事業補助金** 426万円
- **産地パワーアップ事業費補助金** 105万円
  補助対象事業費増に伴う補助金
- **野生動物進入防止緊急支援事業補助金** 396万円
  家畜伝染予防法改正に伴う養豚場への防護策設置に係る補助金
- **県営担い手育成畑地帯総合整備事業負担金** 140万円
  県事業費増に伴う負担金
- **造林事業費補助金** 290万円
  対象事業者増に伴う補助金
- **急傾斜地崩壊対策事業負担金** 175万円
  浄法寺八幡舘地区における県事業費の増による負担金
- **防災行政無線等整備事業** 150万円
  来年度予定していた備品購入費に組み替えを行うなど事業の前倒しを行うもの
- **教育研修費（印刷製本費）** 96万円
  来年度に向けた社会科副読本の増刷を行うもの

令和元年度二戸市一般会計会計補正予算（第7号） 可決

岩手県人事委員会の勧告による職員人件費及び岩手県議会議員二戸選挙区再選挙に係る執行経費の増です。

◆**補正額** 2259万円

議員発議

可決された意見書1件は、関係行政機関へ提出しました。

地方の実態にあった公立・公的病院のあり方を求める意見書 可決

国に対し、公立・公的病院のあり方について、地域の実情を踏まえて丁寧に地方と議論を行うよう要望するものです。

「桜を見る会」の疑惑の真相究明を求める意見書 否決

国に対し、内閣総理大臣主催の「桜を見る会」をめぐる疑惑の真相究明をすること及び安倍首相は必要な資料を公表するとともに国会の集中審議に応じ、自ら疑惑を解消することを求めるものです。

議案審議

会計年度任用職員の給与等に関する条例

問 現在の非正規職員数の状況は。

答 特別職非常勤3人、一般職非常勤132人、臨時的任用職員フルタイム38人、短時間18人で合計191人が対象となる。

印鑑条例の一部を改正する条例

問 意思能力を有しない者の判断方法は。

答 本人に印鑑登録の申請書を書いてもらい、印鑑登録をする理由等を伺い、回答内容によって意思能力の有無を確認することになる。なお、今後国から具体的な運用が出た場合は、その運用に基づいて対応していく。

元年度一般会計補正予算（第6号）

野生動物進入防止緊急支援事業補助金

問 防護柵等の補助金に限度額はあるのか。

答 防護柵については1メートルあたり1万5千円を限度額としている。門扉については1メートルあたり4万円を限度額としている。なお、距離に関しての限度はない。

新規就農者育成対策支援事業費

問 新規採択者2人のそれぞれの内容は。

答 1人は金田一地区において野菜専作となっている。もう1人は釜沢地区において野菜と果樹を耕作している。

新規就農者の農業技術の習得と早期の経営安定を図る為の事業

妊産婦健康診査交通費助成金

問 ハイリスク分娩について市外医療機関を受診する場合の交通費となっているが、具体的な内容は。

答 岩手医科大学附属病院への交通費相当額を支援するものである。金額については二戸駅から盛岡駅までIGRを利用し、盛岡駅からはバス等を利用して病院へ行く費用として往復分の4900円を支援するものである。なお、自家用車等で病院へ行く方についても同額を支援するものである。

総務常任委員会

会計年度任用職員の給与等に関する条例

問 非正規職員は全て会計年度任用職員となるのか。正規職員と非正規職員を定める根拠は何か。

答 基本的には臨時・非常勤等は会計年度任用職員へ移行することを前提としているが、外部委託等の業務改善も併せて行いながら来年度に向けて調整中である。職員の定数については自治体に任されている部分があり、正規職員については適正化計画で、臨時・非常勤等については業務・体制等を見ながら配置してきたところである。

問 ハローワークに応募した方に面接あるいは試験を行って採用する手続きなのか。

答 基本的にはハローワークで手続きをして行う。面接等の選考については部内で面接官を定めて選考している。公平に周知するという観点からハローワークを通して進めたい。

元年度一般会計補正予算（第6号）

防災無線整備事業

問 防災ラジオ無償貸与の基準は。

答 65歳以上の方がいる世帯で希望する世帯には全て無償貸与する。消防団、自主防災組織、小中学校、公民館、児童福祉施設、老人福祉施設等にも無償貸与を行う。

該当世帯等に無償貸与される防災ラジオ

文教福祉常任委員会

元年度一般会計補正予算（第6号）

妊産婦健康診査交通費助成金

問 助成金の内容は。

答 出産のリスクが高くて二戸病院で対応できない場合、岩手医科大学附属病院までの交通費として二戸駅から盛岡駅までIGR、盛岡駅から矢幅駅までJR、矢幅駅から岩手医科大学附属病院まで路線バスの運賃を合わせて往復4900円を助成するものである。助成については4月1日まで遡及して適用させる。

社会教育費寄附金

問 ふるさと納税以外の一般寄附金の内容は。

答 二戸市とみちのくコカ・コーラボトリング株式会社との間で

防災や市民の健康づくり、スポーツ・文化を通じた交流の推進を積極的に進めるために包括連携に関する協定を締結している。その中でみちのくコカ・コーラボトリング株式会社としては、九戸城跡整備振興支援として市役所に設置した自動販売機の売り上げの7％を寄附していただいている。今回6月1日から9月30日までの販売分565本、5905円の寄附をいただいている。これからも自販機を設置している間、支援していただけるものと考えている。

九戸城跡整備振興支援自販機（中央）の売上の7%を市に寄附

産業建設常任委員会

元年度一般会計補正予算（第6号）

野生動物侵入防止緊急支援事業補助金

問 支援事業の経緯は。

答 家畜伝染予防法に定める飼養衛生管理基準が令和2年4月に改正されることから、今年度末日までに養豚施設の周りに防護柵の設置が義務付けられた。防護柵1㍍当たりの補助上限額は1万5千円、農場の出入口は1㍍当たり4万円を上限とし、国2分の1、県4分の1、市8分の1の補助となる。

社会資本整備総合交付金の1億7千万円減額

問 大幅減額による道路新設改良での影響は。

答 委託料では米沢の下平長瀬線の委託設計が出来なくなり、工事請負費では金田一小学校線の全線施工の予定を一部繰り延べとし、舗装補修では上野川代線の延長を減らした。来年度に今年度繰り延べしたものを優先して行う。

市道金田一小学校線

元年度下水道事業特別会計正予算（第2号）

問 下水道普及率は。

答 平成30年度末現在、行政人口のうち、下水道整備区域内の人口比率である普及率は46・6％、下水道を整備した区域内の人口のうち、実際に接続した人口の比率の水洗化率は66・76％。浄法寺地区の普及率は23・71％、水洗化率は38・1％である。

討論

議案第7号　元年度二戸市一般会計補正予算（第6号）

賛成　畠中　泰子　議員

妊産婦の支援事業が提案されているが、求められているのは二戸病院の周産期医療の機能強化である。県に対して周産期医療の機能強化を求めて欲しい。また、社会資本整備総合交付金が大幅な減額となり、金田一小学校線の施工が来年に繰り延べとなった。国に対して100％の交付率を強く求めることを当局に求めて賛成する。

発議第2号「桜を見る会」の疑惑の真相究明を求める意見書

賛成　田口　一男　議員

桜を見る会の疑惑について、新聞等で報道され、政治に対する信頼がかなり落ちている。この間の県議選や各地の選挙で投票率が下がっているのはそういう懸念もあり、政治不信を払拭するためにも疑惑を解明し、真相を明確にすることが求められていることから、説明責任を果たしてもらいたく賛成する。

令和元年10月臨時会

令和元年10月28日に令和元年10月臨時会が招集されました。
市長より提出された議案1件が全員賛成で原案のとおり可決されました。

■ **議案第1号【令和元年度二戸市一般会計補正予算（第5号）】**　補正額　4,210万円

令和元年10月12日から13日にかけての台風19号によって被災した農地農業用施設、河川、道路の災害復旧にかかるものです。

審議結果

議案番号等		議　案　名　等	審議結果
議案	1	二戸市会計年度任用職員の給与等に関する条例	可決（全員賛成）
	2	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決（全員賛成）
	3	二戸市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例及び二戸市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	4	二戸市印鑑条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	5	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について	可決（全員賛成）
	6	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議について	可決（全員賛成）
	7	令和元年度二戸市一般会計補正予算（第６号）	可決（全員賛成）
	8	令和元年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）
	9	令和元年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）
	10	二戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	11	令和元年度二戸市一般会計補正予算（第７号）	可決（全員賛成）
	12	令和元年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第４号）	可決（全員賛成）
	13	令和元年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第３号）	可決（全員賛成）
	14	令和元年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第３号）	可決（全員賛成）
	15	令和元年度二戸市水道事業会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）
発議	1	地方の実態にあった公立・公的病院のあり方を求める意見書	可決（賛成多数）
	2	「桜を見る会」の疑惑の真相究明を求める意見書	否決（賛成少数）

賛否の公表　採決で賛否が分かれた案件の結果です

議　案　名	1 新畑 鉄男	2 三浦 利章	3 髙村 人司	4 石輪 成人	5 沼井 賢壮	6 小田島行伸	7 畠中 泰子	8 田口 一男	9 駒木 昇	10 米田 誠	11 出堀 満則	12 内沢 真申	13 國分 敏彦	14 岩崎 敬郎	15 田中 勝二	16 菅原 恒雄	17 小笠原清晃	18 田代 博之
発議第１号 地方の実態にあった公立・公的病院のあり方を求める意見書	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	議	×
発議第２号「桜を見る会」の疑惑の真相究明を求める意見書	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	欠	×	×	×	議	×

※議長は採決には加わりません。　※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席

議会のネット中継

議会中継の映像はインターネット上で配信しています。パソコンやスマートフォン・タブレットでいつでも本会議の模様をご覧になれます。二戸市議会ホームページまたは右のQR コードからアクセスください。

会議録を公開しています

定例会・臨時会での本会議の内容を記録・製本した会議録は、市役所１階情報公開コーナー、市立図書館、浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。

また、平成 18 年度以降の会議録は二戸市議会ホームページから閲覧・検索することもできます。

一般質問をラジオで放送しています

定例会の一般質問は、カシオペアＦＭ（周波数 77.9 ＭＨｚ）で録音放送をしています。

放送日程は、二戸市議会またはカシオペアＦＭのホームページでご確認ください。

議会の出前、始めます！

議員と意見交換しませんか？

二戸市議会では、「議員との意見交換会・議会報告会」を開催していただける市内の団体を募集しています。希望するテーマに応じて議員を派遣します。

日頃感じている市政への要望や提案などを、この機会にぜひお聞かせください。詳しくは二戸市議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

市政を問う！

7人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。

本定例会では７人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。

岩崎　敬郎　議員 …… P７

1．まちづくりについて　その４
① 交通について
② 健康について

出堀　満則　議員 …… P８

1．第二次二戸市総合計画後期基本計画の策定方法と策定スケジュールについて
2．土地利用の増進と産業振興のための市道整備について

沼井　賢壮　議員 …… P８

1．自然災害への対応について
2．いじめへの対応について
3．折爪岳の観光について

駒木　　昇　議員 …… P９

1．新規街路事業について
2．議会傍聴席をはじめ議場の改良改善について
3．さらなる健康増進の取り組みについて
(1) ラジオ体操の普及
(2) マラソン大会について

田口　一男　議員 …… P 10

1．再生エネルギーを活用した地域活性化について
2．プログラミング教育について

米田　　誠　議員 …… P 10

1．人口減少社会にどう立ち向かうか
2．就職氷河期世代の就労促進について

畠中　泰子　議員 …… P 11

1．市民の命と安全を守る防災対策
2．会計年度任用職員制度
3．子育て支援の拡充

岩崎 敬郎 議員

市民の健診受診率は47・7%、7・1ポイント上昇

問 集団検診の成果はどのようになっているのか。市民の受診率は。

答 **市長** データヘルス計画を策定するとともに、国保ヘルスアップ事業を導入し、3年間で市内を一巡する重点地区の設定や、はがきや電話による個別の受診勧奨、健康マイレージ事業などを実施した。平成28年度は40・6%であった受診率が平成30年度は47・7%と7・1ポイント上昇し、県平均の45・4%を2・3ポイント上回るまでに向上した。

健康寿命を延ばすためにも積極的に受診しましょう。

交通について

問 高速道路情報板を合川の分かれの地点に設置すれば利便性が向上するのではないか。

答 **市長** 情報板は上り下りとも浄法寺インターチェンジからおよそ150㍍付近の二戸五日市線沿いに、平成元年に設置、供用されている。移設または新設についてネクスコ東日本東北支社八戸管理事務所に確認したところこれまで検討したことはなく、また要望などもあまり受けたことがないことから、ニーズや効果について詳細を把握しておらず、仮に移設または新設を行う場合は多額の費用を要するため、慎重に検討する必要があるとの回答であった。利用者などからの要望が多くなってくるようであれば、関係機関にお願いしたいと考えている。

問 堀野近隣公園前の信号機は終日通常通りの動作で、国道の金田一交差点の信号機が夜間点滅信号に切り替わるのは実情に合っていないのでは。

答 **市長** 点滅信号の設定については公安委員会が決定している。堀野近隣公園前の交差点については商業施設利用者や仁左平地区住民のアクセス道路になっており、夜間においても車両、歩行者ともに一定程度の交通量があり、車歩行者の安全確保の観点から、現状どおりの運用が望ましいと考えている。国道の金田一交差点については、交差点の見通しがよいこと、夜間の交通事故の危険性が少ないことから交通の流れをスムーズにするために夜間の点滅信号の運用をしているとのことであった。

出堀 満則 議員

産業道路としての市道整備の計画について

産業生産向上のために計画的に整備

問 二戸市の特徴として新幹線やＩＧＲ、高速道、国道４号線等の道路交通網を活かした土地利用と産業振興が必要と考える。二戸市の道路整備の今後と金田一上田面地区における橋梁整備についての見解を伺う。

答 **市長** 現在の市道改良は足沢工区、舘ケ久保線、斗米橋の拡幅、中村杉中線のヘアピンカーブの解消、金田一小学校線の拡幅、堀野上東線を市道まで延長や浄法寺保育所線等に着手しており、これらの改良と合わせ山間部の未舗装道路も整備を進めている。既存の道路網を維持する橋梁補修や法面補修など道路の老朽化対策も重点的に行い、生活道路の整備が産業の生産性を高めることにつながると考え道路整備を計画的に行っていく。橋梁については多額の費用を要し国の財政支援が不可欠であることから、整備の趣旨、目的、効果を明確にするため都市計画マスタープランに位置づけを行い、国、県に整備の重要性を訴えて行きたい。二戸市は馬淵川による地形的な制約があり、地域間の活発な交流を図るためにも橋による基盤整備は重要と考えている。まずは八幡平地区の橋梁整備を行い、その後、金田一地区の橋梁整備をしたいと考えている。

浄法寺保育所線

後期基本計画について

問 後期基本計画の策定方法と主なスケジュールについて見解を伺う。

答 **市長** 来年度は前期基本計画の最終年度であり、後期基本計画の策定年度になっている。第２次二戸市総合計画策定の際は多くの市民に参加していただき、一緒になって考えてもらい新たにアクションプランを策定した。現在アクションプランに基づき行っている事業数は６８４事業になっている。後期基本計画の策定については各事業の効果や進捗状況を確認し、基本構想の施策が着実に進んでいるかを見極めた上で策定に活かしていきたい。スケジュールについては検討中だが令和２年12月ごろをめどに取りまとめをしたいと考えている。

沼井 賢壮 議員

自然災害や洪水への対応について

防災対策を構築し支援体制の充実を図る

問 防災マップを全戸配布しているが、市独自の検証は行っているか。洪水への対策と非常食の管理、要配慮者利用施設の避難計画

答 **市長** 防災マップは土石流の危険区域は指定の際、個人にも通知しており防災の為にも活用していただきたい。洪水対策は今年度より緊急自然災害時に優先的に飲食料品を供給してもらえる災害連携協定を締結しており非常食を確保する体制を取っている。要配慮者利用施設の避難計画

ハラスメントについて

問 二戸市における小中学校での教員間によるいじめ、ハラスメント行為

観光資源としての折爪岳

問 観光資源・折爪岳の今後の展望について伺う。

答 **市長** 季節に合わせた魅力を発信するため山開き、ヒメボタル鑑賞会、星空観察会、森林ウォーク等５つのイベントを合

難計画の策定と避難行動要支援者への支援について伺う。

答 **市長** 防災マップで示している土砂災害の危険個所及び浸水想定区域は県が調査を行い公表したデータを活用し、二戸市独自の内水位浸水実績箇所も加えて市の防災マップと災害防止対策事業に金田一下平、堀野大谷地、堀野上東、福岡長嶺地区の河川改修、その他被災した河川も護岸整備を行っているところである。病院等重要施設に対する給水は特に重要と考え昨年度は耐震性の高い新大平配水池を整備した。非常食は市内のスーパーか

○

画の策定が未策定の施設には積極的に支援していく。避難行動要支援者への支援については災害時の即時対応ができるよう民生委員、町内会、警察、消防署、消防団員との連携の他、自主防災組織の支援や防災士の養成を図り支援体制を充実させていきたい。

○

為の調査の有無について伺う。

答 **教育長** 教育委員会では直接的な調査は行っていないが、学校訪問や校長面談の際に状況を確認し様々な機会を通していじめが起きないように注視しているところである。

わせて10回開催している。関係機関と連携し施設の充実を図りつつ、観光客が魅力を体感できるよう努める。

折爪岳の夏の夜を彩るヒメボタル

駒木　昇 議員

八幡下地区の橋の整備計画の見通しは

都市計画マスタープランに位置づけし進める

八幡下地区と石切所荷渡地区を結ぶ橋の計画の見通しは。

答 **市長** 当市は、馬淵川による地形的な制約があり地域間の活発な交流を図るためには橋による基盤整備が重要である。公共施設や商業施設が集中した荷渡地区や二戸駅周辺をネットワークで結び市の中心市街地の複合的な課題解決や地域活性化などを図るためにも進めるべきものと考えている。現在進めている都市計画マスタープランに位置づけを行い、国や県に対して整備の必要性、重要性を訴え有利な財源を確保できるよう検討したい。また、工事着手より10年程度での完成を目指したい。

議会傍聴

議会傍聴の意義をどのように捉えているか。また、傍聴席を改修すべきではないか。

答 **市長** 近年政治に対する無関心、選挙の投票率の低下が大きな社会問題となる中、市民の皆様に実際に議場に足を運んでいただき一般質問や議案の審議を傍聴していただく事は、市政や議会への関心の高まりや自らも市政に参画する意欲につながるものであり大変重要と思っている。傍聴席の改修は平成25年に車いすスペースを整備し、また議場が見やすいように前列後列に高低差をつけて改修を行った。今後さらに傍聴しやすい環境になるよう検討したい。

ラジオ体操の普及と健康増進

ラジオ体操の普及を進め健康マイレージのポイントにする事を検討してみたらどうか。

答 **市長** ラジオ体操は老若男女を問わず誰でもできる事にポイントを置いた体操であり地域で声を掛け合い気軽に健康づくりに取り入れる事ができる事から、地域での取り組みを呼び掛けていきたい。健康マイレージ事業は受診率の向上につなげるために平成29年度から3年間で重点地区を定めて実施した事によって、受診状況を確認しながら働きかけをした結果、県平均を上回ることができた。今後は健診結果をより効果的にするため関係機関から意見を聞き次のステップアップに向けた取り組みを検討していきたい。

昨年８月８日に開催された、ラジオ体操・みんなの体操会の様子

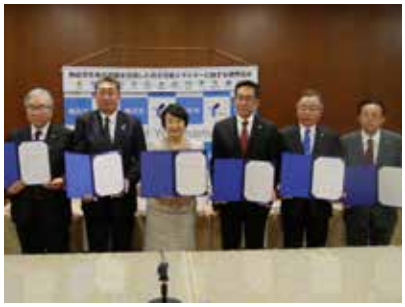
田口一男 議員

再生エネルギーで地域活性化を

北岩手の情報発信から人・物の交流へ

問 横浜市と再生可能エネルギー活用連携協定後の地域間交流も含め、具体的動きと施策は。

答 **市長** 12月2日、横浜市と再生可能エネルギー連携協定を結んだ北岩手9市町村が共同で2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを発表。また県北全体が再生可能エネルギーを切り口としつつ一体で大都市との交流に取り組む。短期的には、令和2年度に策定する二戸市環境基本計画に沿って、再生可能エネルギーの推進、森林整備、ごみ減量化等を進める。市民生活及び事業活動でのエネルギー利用の効率化や地域に存在する再生可能エネルギーを最大限活用した地産地消さらに低炭素な環境エネルギー社会の実現を進める。風力発電は自然環境や景観等に配慮し、適地に普及推進する。本年度は横浜市民に北岩手の魅力を情報発信し、次年度は人や物の交流につなげる。



昨年、横浜市と再生可能エネルギーの活用を通じた連携に取り組む協定を締結した。

問 ICTと融合教育 来年度の小学校のプログラミング教育必修化に伴う現場の対応と諸課題は。

答 **教育長** 文科省では小、中、高の児童生徒の発達段階を考慮した情報活用能力の育成のため、コンピューターや情報通信ネットワーク等の情報手段を活用する学習活動の充実を図る方針を出している。二戸市でも今後、情報活用能力の育成、ICT機器の活用を進める。しかし教育の中心はこれからも教師が児童生徒に指導支援していくことで、これまでの学校教育か、ICT機器の活用かの二者択一でなく、両方の良さを生かした融合教育が必要だ。プログラミング教育研修会を実施し、市内全校の教員が参加し、学んだことを各学校で共有している。また、来年1月には東京学芸大学附属小学校から講師を迎え、プログラミング教育を市教育委員会主催で予定している。国の経済対策で小学校5年生から中学校3年生までの全ての児童生徒がパソコンを1人1台使える環境の整備が伝えられているが、詳細が分からず動向を注視している。

米田　誠 議員

就職氷河期世代の就労促進について

くらしの相談窓口の開設と自立支援の推進

問 就職氷河期世代の就労について伺う。

答 **市長** 就職氷河期世代はバブル崩壊後の厳しい経済状況と就職期が重なり、就労や生活自立、社会自立に向けた支援を行っている。ひきこもりサポートの体制については、くらしの相談窓口が中心となり、図り活用促進に努める。昨年9月には、県内市町村で初めて国土強靭化地域計画を策定し、今後も積極的に財源の確保に努める。公共交通の課題と整備については、地域公共交通網形成計画の策定を進めており、地域の実情に合った交通体系の構築に取り組んでいく。

問 少子高齢化と生産年齢人口減少社会について伺う。

答 **市長** 本市の人口は2015年の2万創生総合戦略により、産業体験型観光、にのへ型テロワール事業、公民連携まち再生事業などの展開により、関係人口の拡大に努めてい

重なった世代で、現在35歳から44歳の層と示されている。岩手労働局においては、地域若者ステーションが15歳から39歳までの若年者、無業者等に対する就労支援を実施している。二戸市においては、くらしの相談窓口を開設し、個々の状況に合わせたプランを作成

○ スーパーでの買い物訓練などによる他者との交流や市内事業所の清掃業務訓練を行うなど、就労のための支援を実施している。ハローワークと話し合い、キャリアアップできる就労環境の整備に努めていく。

人口減少社会について

○ 7611人から2045年には1万5281人、約45%の減という推計になっている。中でも生産年齢人口、15歳から64歳までの人口は2015年の1万5286人から30年後の2045年には6427人と半数以上の減という推計結果になる。二戸市まち・ひと・しごとる。また、なりわいの維持とにぎわいの創出は、民間企業や関係団体とともに商店街などの回遊性を高めながら、空き店舗の活用促進につなげたい。空き家対策については、今年度策定を予定している空き家等対策計画に基づき所有者に呼びかけ、関係団体等と連携を

空き店舗となっていた呉服店を活かし、開業した飲食店「福わらし」

畠中 泰子 議員

浸水最大想定のハザードマップ作成など防災対策の強化を

早い段階で防災マップに反映させ、防災意識向上をはかっていく

問 防災対策と福祉避難所を含めた避難所のあり方等の検証、災害対策強化が求められている。2日間の降水量317ミリメートルでの想定最大規模のハザードマップ作成や市民の防災意識向上対策も必要では。

答 **市長** 最悪の事態を想定した防災対策を構築しておくことが必要。平成30年9月に公表された2日間の総雨量317ミリメートルの大雨を想定した浸水想定を早い段階で防災マップに反映させたい。避難所設営と運営は平成27年に策定の避難所運営手引きと福祉避難所運営マニュアルに沿って進めていきたい。

昨年10月13日の朝、台風19号で増水した馬淵川と川原橋

会計年度任用職員制度

問 会計年度任用職員制度への移行では正規職員を削減して会計年度任用職員に置き換えたり、労働条件の切り下げがあってはならず、適正な処遇改善が求められる。見解を伺う。

答 **市長** 適正な任用と勤務条件の確保という改正法の趣旨に沿い、原則、現行の臨時職員はフルタイム、非常勤及び日々雇用職員はパートタイムの会計年度任用職員に移行する。給与等は期末手当等の手当支給を行うことで月収、年収とも一定程度の増額が見込まれる。

子育て支援の拡充

問 本市の子どもの医療費助成は県内で最低水準になった。見解を伺う。

答 **市長** 県に制度の拡充を要望するとともに国において医療費助成制度を創設するよう要望していく。

問 予防接種助成はロタウイルス、おたふく風邪も助成対象にして子どもの健康を守るべきでは。

答 **市長** ロタウイルスは令和2年10月から定期接種となる。おたふく風邪は聴力障害など合併症が多い小児疾患で県内14市町村で助成しており、本市での実施については十分な検討が必要と考える。

問 ロタウイルスは8月以降に生まれた子が対象であり、市独自で令和2年度4月生まれの子から対象とすべきではないか。

答 **市長** 優先順位を付けながら課題解決に当たっていきたい。

視察レポート

２常任委員会で管外行政調査を実施し、先進地の取り組みを学びました。

総務常任委員会

【視察日】11月5日（火）～6日（水）【視察先】愛知県安城市・江南市
【視察者】田代博之委員長、米田誠副委員長、石輪成人委員、岩崎敬郎委員、田中勝二委員、菅原恒雄委員

安城市　ごみ減量対策について

名古屋から30キロメートルであり、工業都市に隣接しているという立地に恵まれ近年では人口19万人を超え、現在でも微増を続けている。人口増に伴うごみ処理が問題となり、現市長が選挙公約でごみ減量化取り組み22・4％の減量を達成している。街角講座の開設、着ぐるみの環境戦隊の公演を市内小学校21校で行い幼少期から環境学習を行なっている。生ごみ処理機に対する助成、肥料として市民への配布などユニークな施策を展開している。▼所感　クリーンセンターの改修費用が多額なことなどの理解を進めて減量化に一層取り組む覚悟が必要である。交付税を受けない自治体が各種の工夫をして事業を行っている。当市も更に考えて努力することが大切である。

安城市にてリサイクルプラントを視察

江南市　デマンドタクシー（いこまいCAR）事業について

名古屋から20分圏内で平地にベッドタウンとして発展した人口約10万人の非常に人口密度の高い街である。交通機関には鉄道や路線バス、コミュニティバス、福祉タクシーがあるが、高齢化社会に配慮してドアツウドアのサービスを提供している。対象者は福祉タクシーの助成を受けていない市民であり、運行は民間タクシー会社との委託契約で行っている。▼所感　コンパクトな街ゆえに成り立つ事業であると感じた。当市においては面積が広大なため事業費については十分な検討が必要である。

江南市役所にて

文教福祉常任委員会

【視察日】10月30日（水）～11月1日（金）
【視察先】兵庫県相生市、京都府京都市、愛知県大府市
【視察者】三浦利章委員長、田口一男副委員長、沼井賢壮委員、駒木昇委員、内沢真申委員

相生市　子育て応援施策「11の鍵」について

相生市では、平成18年から平成22年度まで行財政健全化に取り組み、平成17年度当初予算総額をベースに平成22年度当初予算額を約20％（27億6千万円）削減した。その中で、将来の人口減少が最重要課題として浮き上がってきたため、人口減少対策、教育・子育て・少子化対策、産業の活性化に取り組んできた。現在は、「相生市もっと活力上昇計画」をスタートさせ、11の定住促進関連事業を「11の鍵」として市内外へのPRを展開している。▼所感　二戸市がこうした人口減少、少子化対策に取り組んでいくためには、財政の健全化とともに進めていかなければならない。

相生市役所にて

京都市　認知症になっても外出をあきらめない地域に向けた取り組みについて

京都市岩倉地域は、認知症になっても外出をあきらめない、続けられる社会を目指し、認知症の方と何ができるかを模索しながら、止めることだけでなく、外出できる社会にしていこうとする取り組みを行っている。▼所感　外出を支える地域の交通機関とのネットワークづくりやサポーター、住民の方々の見守り、サポートする環境作りは二戸市においても参考としていくべきと思われる。

左京区役所にて

○その他調査事項…大府市　※ＩＣＴ教育の取り組みについて

※ＩＣＴ教育：パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと。

議会活動の報告（11月から1月）

11月5日～6日
総務常任委員会管外行政調査
11月7日
議会改革検討委員会
11月11日
岩手県市議会議員研修会
11月16日
カシオペア連邦議会議員協議会25周年記念事業
11月17日
六市議会議員協議会研修会
11月20日
広聴広報委員会広聴部会
11月26日
文教福祉常任委員会
11月27日
会派代表者会議
議会改革検討委員会
総務常任委員会
11月28日
産業建設常任委員会
広聴広報委員会広聴部会
12月3日
議会運営委員会
12月5日
議会改革推進協議会
議会運営委員会
12月5日～17日
令和元年12月定例会
12月17日
議会運営委員会
12月19日
議広聴広報委員会広報部会
12月20日
二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会役員会
1月14日
産業建設常任委員会
1月15日
議員全員協議会
議会改革検討委員会
1月21日～22日
産業建設常任委員会管外行政調査
1月23日
広聴広報委員会広報部会
会派代表者会議
広聴広報委員会広聴部会
1月28日
二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会調査研究活動

カシオペア連邦議会議員協議会25周年記念事業を開催

二戸市、一戸町、軽米町、九戸村の議会議員で構成されているカシオペア連邦議会議員協議会は、令和元年11月16日、25周年事業として一戸町御所野縄文遺跡の視察及び二戸市民文化会館にて高橋克彦氏・村松文代氏の対談講演会を開催しました。御所野縄文遺跡では、中高生のボランティアガイドから遺跡の詳細な説明がされ、各議員熱心に耳を傾けました。講演会では、演題を「北の炎（ほむら）」とし、九戸政実や蝦夷について講演いただく貴重な機会となりました。

台風19号に伴う災害に対する義援金について

二戸市議会では、甚大な被害をもたらした令和元年台風19号に伴う災害を受けて、全国市議会議長会を通じて被災地へ義援金を送りました。被災された皆様方に対し心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福と早期に復旧されますことを、謹んでお祈り申し上げます。

二戸市議会議員一同

ご意見箱

このコーナーでは、クイズにご応募いただいた皆さまから寄せられたご意見などをご紹介します。

表紙が、母校の生徒さんで太鼓チームの写真に惹き付けられました。今も活躍しておられるのが分かり懐かしく応援したくなりました。また、誌面も拝見し、知らなかったさまざまな事業に、予算が使われていることを知りました。どうぞ、これからも中心部だけではなく、各地区に満遍なく役立てていただきたいと感じました。（石切所・50歳 女性）

＜声のひろば＞から
二戸の人口がどんどん減っていく中、若いご夫婦のUターンは、とても喜ばしいことですね。よくぞ帰ってきてくれました。こういう人達が増える魅力的な街になるといいですね。（米沢・59歳 女性）

にこにこ号を利用しているのですが、道路が整備されてきて、嬉しいです。漆振興に、予算が付いているみたいなので、充分に、二戸の宝を活かして欲しいと思いました。これからも、よろしくお願いいたします。（上斗米・34歳 女性）

市議会だより、市の広報、県の広報等、アナログ派の自分は、とても楽しみに読ませて頂いております。地区的に携帯の電波も悪く、光回線もなく、全く不便な所ですので、今二戸市では、何が問題で、自分達のために何を議論してくれているのかを知る事ができて、ありがたく、参考になります。（釜沢・61歳 女性）

声のひろば
KOE NO HIROBA

議会だよりと共に議会放送を

カシオペアＦＭ営業　藤村（ふじむら）　育子（いくこ）さん

カシオペアＦＭの営業として、今年２年目になります。南部町出身の私は専門学校を卒業後、ほぼ市内で仕事をしております。市内の方と結婚し子どもは３人です。自分も子どもがいるため、子どもたちが二戸に帰って来たくなるまちづくりに協力したいという思いがあり、カシオペアＦＭに入社いたしました。議会に対しては入社前は議会だよりを見る程度でしたが、入社後は議会放送を聞くことにより議員の皆様の考え、それに対しての答弁を聞き行政の姿勢がより分かりやすくなりました。市内外を問わずＣＭ等の相談がありましたらよろしくお願いいたします。

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介します。
掲載を希望する方は、お気軽に二戸市議会事務局へご連絡ください。

よーく読めば答えが見つかる！

議会だよりクイズ

下の●●に当てはまる言葉を入れてください。

「防災ラジオは●●（2文字）歳以上の方がいる世帯で希望する世帯に無償貸与する。」

応募方法　クイズの答えと住所、氏名、年齢、**議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想などを必ずご記入**のうえ、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。正解者の中から抽選で５人に二戸市共通商品券 1,000 円分をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※ご意見等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。（氏名非公開）

あて先　〒 028-6192　二戸市福岡字川又 47
二戸市議会事務局 議会だより係／ FAX：0195-23-1633
メール：gikai@city.ninohe.iwate.jp

締切　令和２年３月 19 日（木）※当日消印有効

（　前回の答え…「平成 30 年度一般会計歳出額は、①⑥①億 4,042 万円です。」　）

３月定例会を開催します

次回の定例会は、２月 25 日（火）に開会の予定です。
詳しい日程につきましては、二戸市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

議会を傍聴してみませんか

本会議は当日の受付で傍聴できます。傍聴を希望する場合は、議会開催日に市役所３階へお越しください。車椅子をご利用の方も傍聴可能です。
また、市役所および浄法寺総合支所の１階ホールでは、テレビで議会中継を見ることができます。
※ 12 月定例会の傍聴者は延べ 39 人 でした。

広聴広報委員会
委員長　内沢　真申
（広報部会）
部会長　田口　一男
副部会長　小田島　行伸
委員　髙村　人司
委員　菅原　恒雄

編集後記

令和になり皆様におかれましても輝かしい新年を迎えられたことと思います。年明けからは防災意識を高める消防団出初め式、熱演が繰り広げられた二戸市出身の４人組ロックバンドＳａＴｏＭａｎｓｉｏｎの凱旋公演を鑑賞、これからの時代を担う新成人の門出を祝う式に出席させて頂きまして充実した新年を迎えることが出来ました。令和の時代も議会だよりが、より見やすく親しみやすい紙面になるように励んでいきたいと思います。

（小田島　行伸　記）

発行／二戸市議会
編集／広聴広報委員会

〒 028-6192　岩手県二戸市福岡字川又４７
ＴＥＬ 0195（23）3111　ＦＡＸ 0195（23）1633

二戸市議会のホームページ（市ホームページよりアクセス）　http://www.city.ninohe.lg.jp/
二戸市議会のメールアドレス　gikai@city.ninohe.iwate.jp

右のＱＲコードからもホームページにアクセスできます→